二十三編上

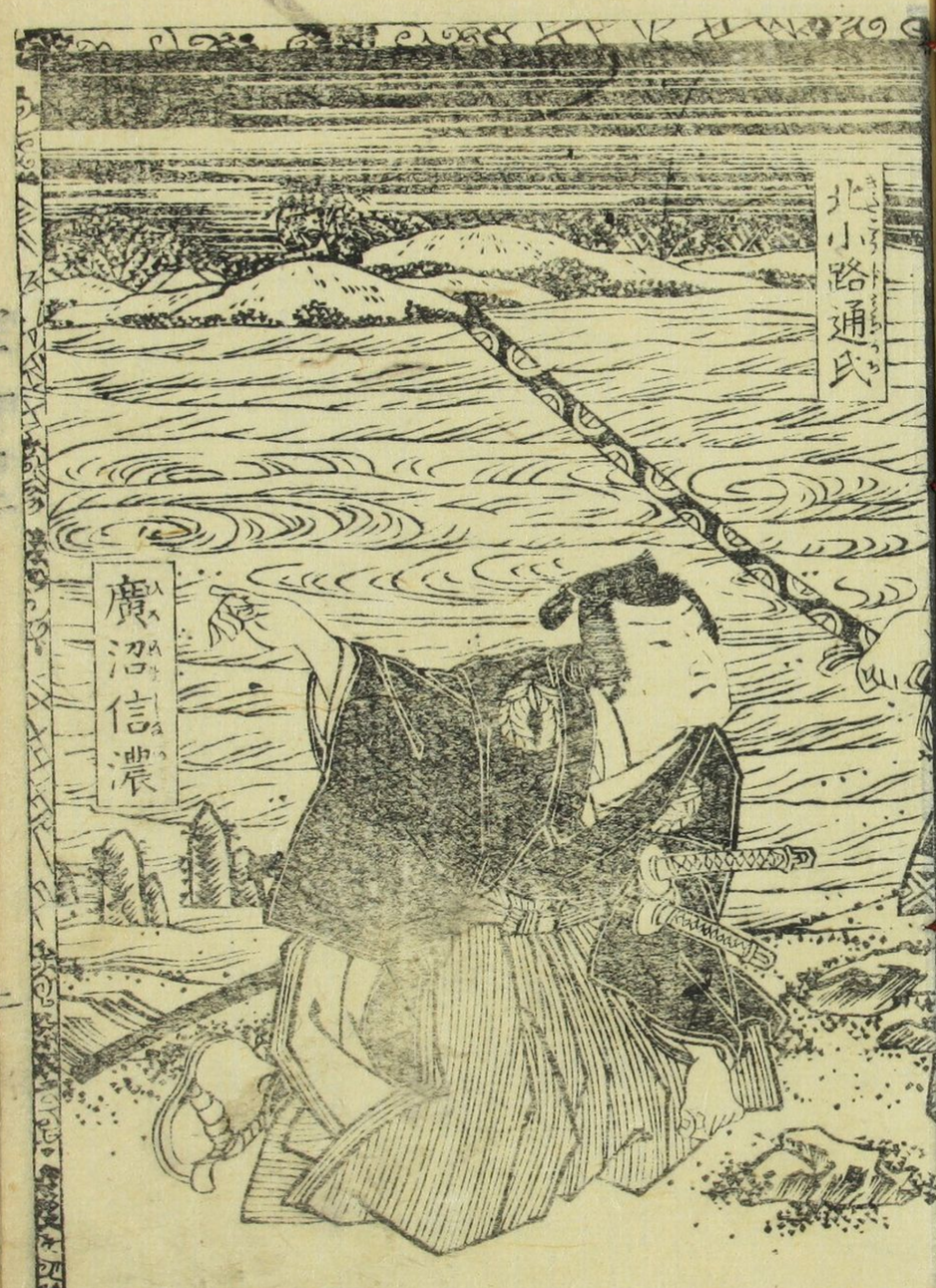
宮町原氏胡蝶
卷柳亭種彦
仇梅樣博愛圖

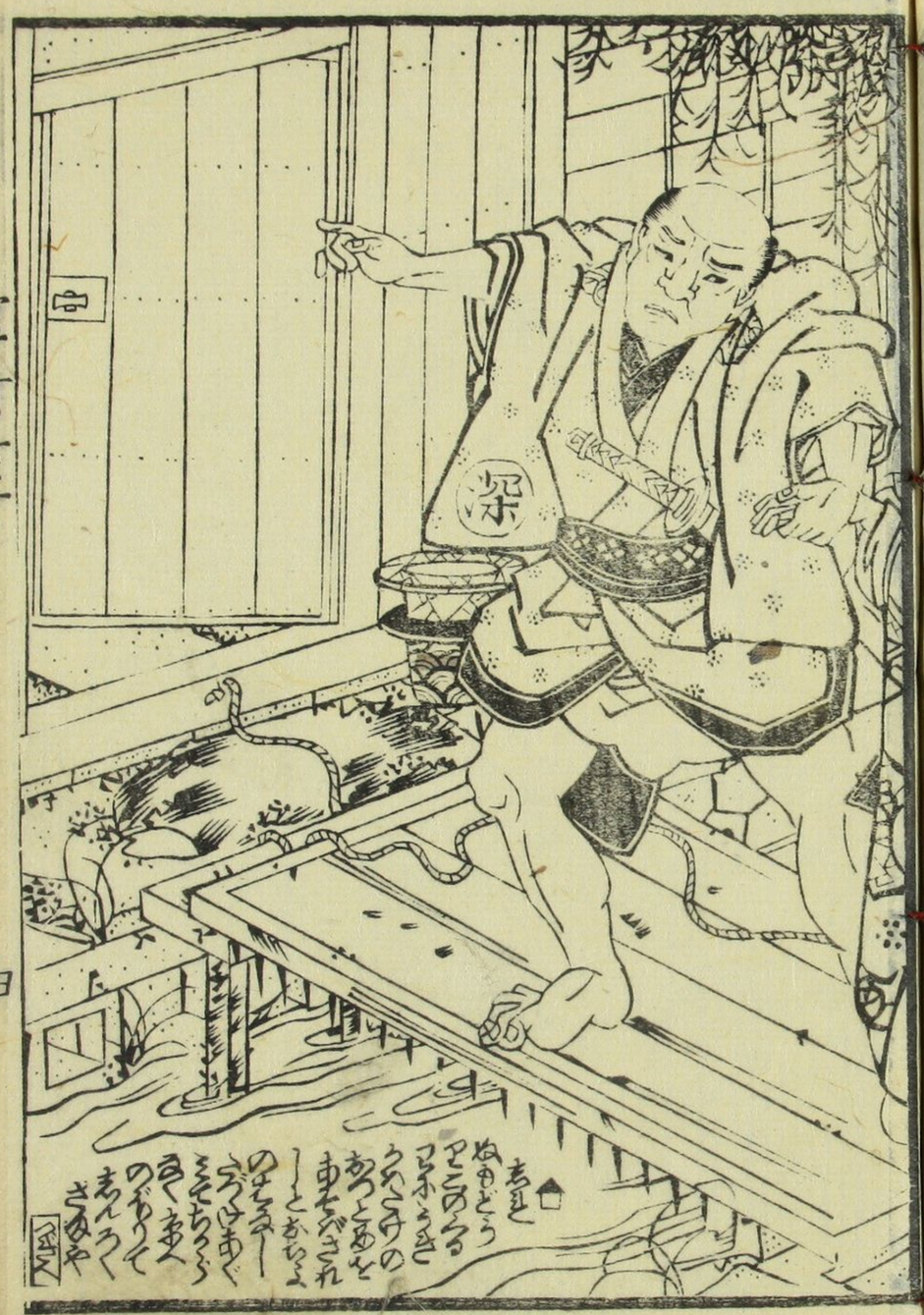
上

或時故小團治丈（後号る幕ふ狂言の祝玉也）
考るゝ事あり（開幕）彼の名を忘れたる河竹氏が著述
出るとゝ看官ハ小團治丈が云ふ井よりも出るものゝ
もあるべなりまた已ふ師翁が妙案社田舎源氏に光氏と
ゆふ名ハ三歳兒も考へ得べし柳亭種彦と佐名を
考へぬもいと多くこの世とたゞ唯この關の扉社佐者をおさ我生涯ぬ
九太夫の樣の下ゐるちこのうちの人世妻らいづまるあれ
ど佐老程つゝぬものはまのあまの新まぢと逮捕を獨り
嘆ずして水谷角社汗社にたのもし

柳亭の種彦

足利義滿


北小路通氏
廣沼信濃



早
氷

菊
水

氷

田

這ハ冰三が物語ゆゑなる
十
和田左衛門義盛
十八

種彦遺稿

有人校合

豊國畫

實母散

柳蔭月朝妻

藪黄鶯八幡不知

山々亭有人作

柳蔭月朝妻 九編近 柳朝樓國貞画

藪黄鶯八幡不知 山々亭有人作 柳朝樓芳幸画

東京 須原屋茂兵衛 東京 須原屋伊八 東京 英平吉 東京 山城屋佐兵衛 東京 藤屋善七 東京 和泉屋市兵衛 東京 丸屋善七 東京 文永堂 東京 嵩山堂 東京 東京堂孝輔 製